

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社NFKホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6494 URL http://www.nfk-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 悦章
 問合せ先責任者 (役職名) 経理マネージャー (氏名) 金木 洋子 TEL 03(6419)7197
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	749	△8.3	△6	-	△31	-	△4	-
2025年3月期中間期	816	△26.2	△28	-	△16	-	△50	-

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 21百万円 (-%) 2025年3月期中間期 △114百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△0.11	-
2025年3月期中間期	△1.15	-

(注) 2025年3月期中間期における潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式があるものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。また、2024年3月期中間期間における潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	7,895	6,415	72.3
2025年3月期	5,742	5,157	89.8

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 5,710百万円 2025年3月期 5,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年3月期	-	0.00	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	0.9	120	△12.5	120	△22.1	95	△10.1	2.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社キャストリコ、除外 1社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	48,744,624株	2025年3月期	44,051,274株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	457株	2025年3月期	457株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	45,127,979株	2025年3月期中間期	44,050,842株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）における我が国の経済は、企業の設備投資意欲や個人消費に一定の持ち直しが見られたほか、インバウンド需要の拡大など緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、原材料価格の高止まりや円安基調の継続、米国の関税引き上げの影響など、先行きについては依然として慎重な見方が広がっている状況が続いております。

当社グループにおきましても、引き合い等については確実に上向いてきているものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。

これらの状況の中、当社ではこれまで持分法適用関連会社であった株式会社キャストリコの持ち分比率を52.06%まで引き上げ連結子会社化するなど、企業価値向上のための施策を実行してまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高につきましては、当社主要子会社である日本ファーンレス株式会社の期初受注残5億2千4百万円（前年同期比5千2百万円減）にてスタートしたことなどから、7億4千9百万円（前年同期比8.3%減）となりました。また、利益面につきましては、営業損失6百万円（前年同期は営業損失2千8百万円）、経常損失3千1百万円（前年同期は経常損失1千6百万円）、また、親会社株主に帰属する中間純損失につきましては4百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益5千万円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

（a）工業炉燃焼装置関連

工業炉燃焼装置関連事業につきましては、当中間連結会計期間の売上高につきましては、7億4千9百万円（前年同期比8.3%減）となりました。また、利益面におきましては、工業炉部門において追加原価が発生したことなどから、営業損失6千4百万円（前年同期は営業損失9千6百万円）となりました。

（b）エレクトロニクス

株式会社キャストリコのみなし取得日が2025年9月30日となるため、関連損益の計上はございません。

（c）その他

その他の事業につきましては、子会社からの不動産賃貸収入、経営指導料等が収益の中心となっております。当中間連結会計期間につきましては、売上高は1億4千1百万円（前年同期と同額）、営業利益は1億2千1百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間において、これまで持分法適用関係会社であった株式会社キャストリコを連結子会社化したことにより、資産・負債・純資産等が大きく変動しております。

（資産）

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて37.5%増加し、78億9千5百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて54.0%増加し、58億9百万円となりました。主な内訳としては現金及び預金が6億6千1百万円の増加となったこと、受取手形、売掛金及び契約資産が5億1千9百万円増加したこと、原材料が2億6千8百万円増加したこと、仕掛品が4億9千4百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、20億8千5百万円となりました。主な内訳としてはのれんが4億7千2百万円の増加となったこと、投資有価証券が6億4千8百万円減少したことなどによります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて152.9%増加し、14億8千万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて127.7%増加し9億2千9百万円となりました。主な内訳としては支払手形及び買掛金が1億4百万円増加したこと、短期借入金が9千7百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて211%増加し、5億5千万円となりました。主な内訳としては長期借入金3億9百万円増加したことなどによります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて24.4%増加し、64億1千5百万円となりました。主な内訳としては資本剰余金が5億3千5百万円増加したこと、非支配株主持分6億9千万円を計上したこと、親会社株主に帰属する中間純損失4百万円を計上したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました予想を変更しておりません。

株式会社キャストリコ連結子会社化についての影響等につきましては、判明次第改めてお知らせいたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,583,740	3,245,119
受取手形、売掛金及び契約資産	626,086	1,146,083
商品及び製品	-	76,793
仕掛品	60,099	554,261
原材料	156,673	425,120
その他	345,510	362,308
流動資産合計	3,772,110	5,809,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	136,712	239,932
機械装置及び運搬具 (純額)	1,100	12,181
土地	292,877	292,877
その他 (純額)	12,192	41,823
有形固定資産合計	442,882	586,816
無形固定資産		
商標権	-	431
ソフトウェア	1,025	2,355
のれん	-	472,008
電話加入権	-	318
無形固定資産合計	1,025	475,114
投資その他の資産		
投資有価証券	1,490,738	842,684
破産更生債権等	58,337	58,037
その他	35,768	181,238
貸倒引当金	△58,337	△58,037
投資その他の資産合計	1,526,507	1,023,922
固定資産合計	1,970,415	2,085,853
資産合計	5,742,525	7,895,539

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	279,552	383,953
短期借入金	12,000	109,998
1年内返済予定の長期借入金	5,724	45,204
未払法人税等	41,430	38,841
賞与引当金	23,153	97,138
完成工事補償引当金	7,144	5,277
その他	39,441	249,447
流動負債合計	408,445	929,860
固定負債		
長期借入金	25,213	334,311
再評価に係る繰延税金負債	20,890	20,890
退職給付に係る負債	115,923	112,398
その他	15,043	83,052
固定負債合計	177,070	550,653
負債合計	585,516	1,480,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,341,508	3,876,550
利益剰余金	1,747,944	1,743,171
自己株式	△214	△214
株主資本合計	5,189,238	5,719,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△73,119	△46,909
土地再評価差額金	38,071	38,071
その他の包括利益累計額合計	△35,047	△8,837
新株予約権	2,818	13,750
非支配株主持分	—	690,606
純資産合計	5,157,008	6,415,026
負債純資産合計	5,742,525	7,895,539

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	816,827	749,106
売上原価	620,539	517,272
売上総利益	196,287	231,834
販売費及び一般管理費	224,948	238,386
営業損失(△)	△28,660	△6,552
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,265	34,990
持分法による投資利益	8,547	—
為替差益	—	1,027
貸倒引当金戻入額	250	300
その他	2,663	2,196
営業外収益合計	13,726	38,514
営業外費用		
支払利息	330	294
持分法による投資損失	—	35,274
株式交付費	—	28,068
為替差損	1,074	—
営業外費用合計	1,404	63,637
経常損失(△)	△16,338	△31,674
特別利益		
段階取得に係る差益	—	42,486
特別利益合計	—	42,486
特別損失		
固定資産除却損	—	18
特別損失合計	—	18
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△16,338	10,792
法人税、住民税及び事業税	34,358	15,566
法人税等合計	34,358	15,566
中間純損失(△)	△50,697	△4,773
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△50,697	△4,773

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△50,697	△4,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,989	23,553
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,815	2,656
その他の包括利益合計	△63,804	26,210
中間包括利益	△114,502	21,437
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△114,502	21,437
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当該事項はありません。

（会計方針の変更）

（連結範囲及び持分法適用の範囲の変更）

連結の範囲の重要な変更

持分法適用関連会社であった株式会社キャストリコの株式を公開買付けを通じて追加取得した結果、当中間連結会計期間末より、同社を持分法適用の範囲から除外し、連結の範囲に含めております。

詳細につきましては、注記事項（企業結合等関係）に記載のとおりです。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年6月6日開催の定時取締役会において、簡易株式交付による株式会社キャストリコに対する公開買付を行うことを決議し、2025年8月20日付で当社を株式交付親会社とし、株式会社キャストリコを株式交付子会社とする株式交付による企業結合を実施し、子会社化しております。

この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金が5億3千5百万円増加し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が38億7千6百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装置 関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	816,827	—	816,827	—	816,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	141,000	141,000	△141,000	—
計	816,827	141,000	957,827	△141,000	816,827
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	△96,601	132,128	35,526	△64,186	△28,660

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△64,186千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装 置 関連	エレクトロニ クス事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	749,106	—	—	749,106	—	749,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	141,000	141,000	△141,000	—
計	749,106	—	141,000	890,106	△141,000	749,106
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	△64,380	—	121,230	56,850	△63,402	△6,552

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△63,402千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より株式を取得し子会社化した株式会社キャストリコを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに「エレクトロニクス事業」を追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「エレクトロニクス事業」セグメントにおいて、株式会社キャストリコの株式を取得に伴い、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めており、のれんが増加しております。

詳細は、注記事項（企業結合等関係）に記載のとおりであります。

（企業結合等関係）

（取得による企業結合）

当社は、2025年8月20日に簡易株式交付による株式会社キャストリコに対する公開買付を行い、当社を株式交付親会社とし、株式会社キャストリコを株式交付子会社とする株式交付による企業結合を実施し、株式会社キャストリコを子会社化しております。

1. 企業結合の概要

（1）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社キャストリコ
事業の内容	販売、基盤設計及び開発

（2）企業結合を行った主な理由

事業領域の拡大及びこれまで持分法適用関連会社であった株式会社キャストリコの連結子会社化による関係強化

（3）企業結合日

みなし取得日 2025年9月30日

（4）企業結合の法的形式

株式交付による公開買付

（5）結合後企業の名称

変更はありません。

（6）取得した議決権比率

企業結合日直前に所有していた議決権比率	29.26%
取得後の議決権比率	52.06%

（7）取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が交付した株式を対価として株式会社キャストリコの株式を取得したためです。

2. 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当中間連結会計期間は貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 株式の種類別の交付比率及びその算定方法並びに交付した株式数

（1）株式の種類別の交付比率

株式会社キャストリコの普通株式1株に対して、当社の普通株式9.34株を割当て交付しました。

（2）交付した株式数

4,693,500株

（3）株式交付比率の算定方法

当社は、本株式交付に用いられる株式交付比率の検討に際して、その公正性・妥当性を確保するため、当社及び株式会社キャストリコから独立した第三者機関である東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社を選定し、2025年6月5日付で株式交付比率算定報告書を取得しました。当社は、当該算定結果を参考に、株式会社キャストリコの資産・負債の状況、同社の現状・将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、慎重に検討を重ねた結果、上記（1）記載の交付比率は東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社が算定した株式交付比率レンジ内であり、当社の株主の利益を損ねるものではなく、妥当であるとの判断に至りました。

4. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、処理しています。

5. 被取得企業の取得原価

企業結合日に交付した当社普通株式の時価	535,041千円
取得原価	535,041千円

6. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	28,068千円
-----------	----------

7. のれんの金額、発生原因

(1) のれん金額

472,008千円

(2) 発生原因

企業結合時における時価純資産が取得原価を上回ったため、その差額をのれんとして認識しています。

(3) 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却

8. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	2,178,166	千円
固定資産	289,628	〃
資産合計	2,467,795	〃
流動負債	647,147	〃
固定負債	380,083	〃
負債合計	1,027,230	〃